

2017年度第1四半期決算

証券コード：5332

2017. 07. 31

2017年度第1四半期決算概要

ハイライト

**増収。営業利益は減益。
経常利益・四半期純利益は増益。**

グローバル住設事業（日本）：減収減益（営業利益ベース）

◆リモデル・新築とも減収減益。

グローバル住設事業（海外）：増収増益（営業利益ベース）

◆中国、アジア・オセアニア、米州で増収増益。

新領域事業：増収

◆セラミック事業が大幅増収。

今年度より、海外グループ会社損益の為替換算レートを期末日レートから期中平均レートに変更。

当資料の前年度に関する情報は、全て遡及適用後の数値を記載。

2017年度第1四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響		当初計画	計画差
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)		
売上高	1,286	1,316	+30 (+2%)	▲12	+42 (+3%)	1,315	+1
営業利益 [営業利益率]	73 [5.7%]	69 [5.3%]	▲4 (▲6%)	▲2	▲2 (▲2%)	64 [4.9%]	+5
経常利益	67	83	+16 (+24%)	+11	+5 (+6%)	69	+14
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	43	48	+5 (+10%)	+12	▲7 (▲19%)	38	+10

■為替レート

	2016年度1Q	2017年度1Q	2017年度計画
1ドル	115.4円	113.6円	105.0円
1元	17.6円	16.6円	16.0円
1ユーロ	127.2円	121.1円	117.0円

為替換算方法の変更について

■ 変更の背景

TOTOグループでは、グローバル住設事業（海外）を、TOTOグループの成長のエンジンと位置付けており、今後さらに強化していく方針である。

これを踏まえ、海外の現地グループ会社の収益を、より適切に連結業績に反映するため、為替換算方法を決算日の為替相場によるものから、期中平均相場によるものへと変更した。

■ 業績推移：為替換算方法の変更前後

変更前（期末日レート）

単位（億円）

2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
5,534	471	504	441	5,445	374	396	248	5,678	461	467	357	5,738	485	493	338

変更後（期中平均レート）

単位（億円）

2013年度				2014年度				2015年度				2016年度			
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
5,455	458	490	430	5,299	345	364	223	5,719	469	477	364	5,673	474	481	329

2017年度第1四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	956	950	▲6 (▲1%)		▲6 (▲1%)	964	▲14
住設事業 (海外)	285	303	+18 (+6%)	▲12	+30 (+11%)	289	+14
新領域	43	62	+19 (+43%)	▲0	+19 (+44%)	62	+0
その他	0	0	+0		+0	0	+0
合計	1,286	1,316	+30 (+2%)	▲12	+42 (+3%)	1,315	+1

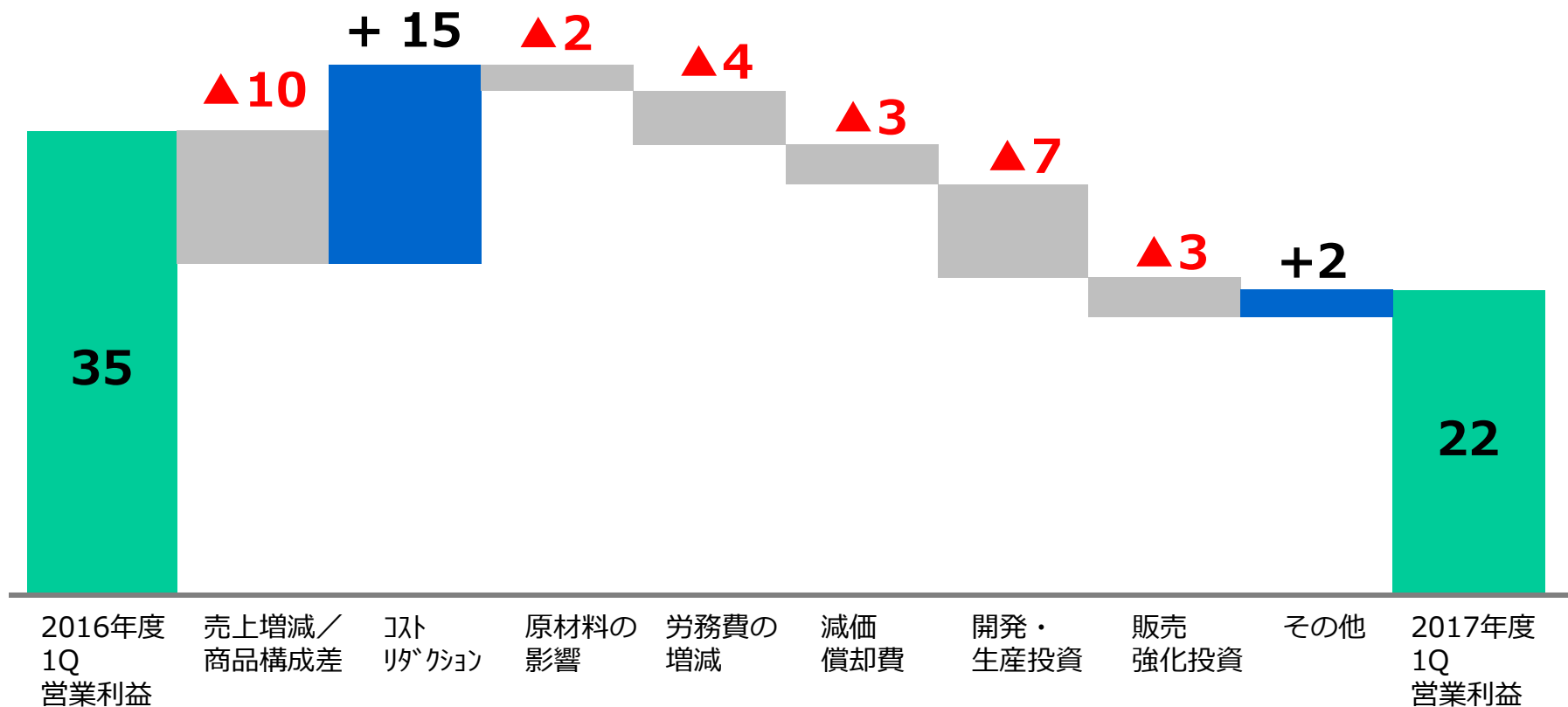
<営業利益>	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	35	22	▲13 (▲36%)		▲13 (▲36%)	24	▲2
住設事業 (海外)	50	56	+6 (+11%)	▲2	+8 (+16%)	48	+8
新領域	▲0	▲0	+0 (-)	▲0	+0 (-)	0	▲0
その他	▲10	▲7	+3		+3	▲8	+1
合計	73	69	▲4 (▲6%)	▲2	▲2 (▲2%)	64	+5

2017年度第1四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異）

単位：億円



2017年度第1四半期決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年比・前年差
売上高	641	636	▲1%
営業利益	27	17	▲10
営業利益率	4%	3%	▲1pt

<新築>

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年比・前年差
売上高	314	313	▲0%
営業利益	7	4	▲3
営業利益率	2%	1%	▲1pt

リモデル・新築とも減収減益。
特にリモデルは継続して市場が停滞。

2017年度第1四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年比	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年差
衛生陶器	186	183	▲2%	9	2	▲7
ウォシュレット	204	199	▲2%	20	16	▲4
水栓機器	201	204	+2%	7	7	▲0
浴室	238	240	+1%	8	4	▲4
キッチン・洗面	106	104	▲2%	▲8	▲6	+2
その他	19	17	▲8%	▲3	▲2	+1
合計	956	950	▲1%	35	22	▲13

2017年度第1四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2016年度1Q	2017年度1Q	前年比	為替影響除 前年比
中国	135	150	+11%	+18%
アジア	62	67	+8%	+9%
米州	75	75	+1%	+2%
欧州	11	9	▲20%	▲16%
合計	285	303	+6%	+11%

営業利益	2016年度1Q	2017年度1Q	前年差	為替影響除 前年差
中国	34	39	+5	+8
アジア	12	13	+1	+1
米州	4	5	+1	+1
欧州	▲1	▲2	▲1	▲2
合計	50	56	+6	+8

好調な中国が牽引し、海外全体で増収増益。

2017年度第1四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

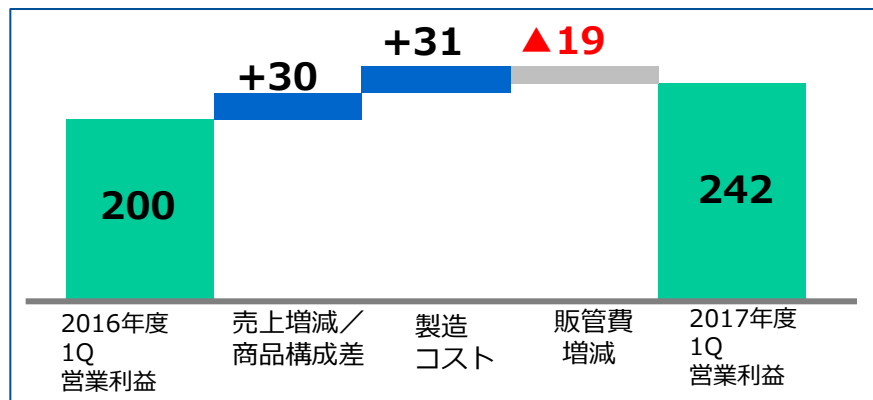
P / L

単位：百万元

	2016年度1Q	2017年度1Q	前年比・前年差
売上高	764	899	+18%
営業利益	200	242	+42
営業利益率	26%	27%	+1pt

営業利益の増減要因

単位：百万元



為替レート	2016年度1Q	2017年度1Q	2017年度計画
1元	17.6円	16.6円	16.0円

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同月比+21%。

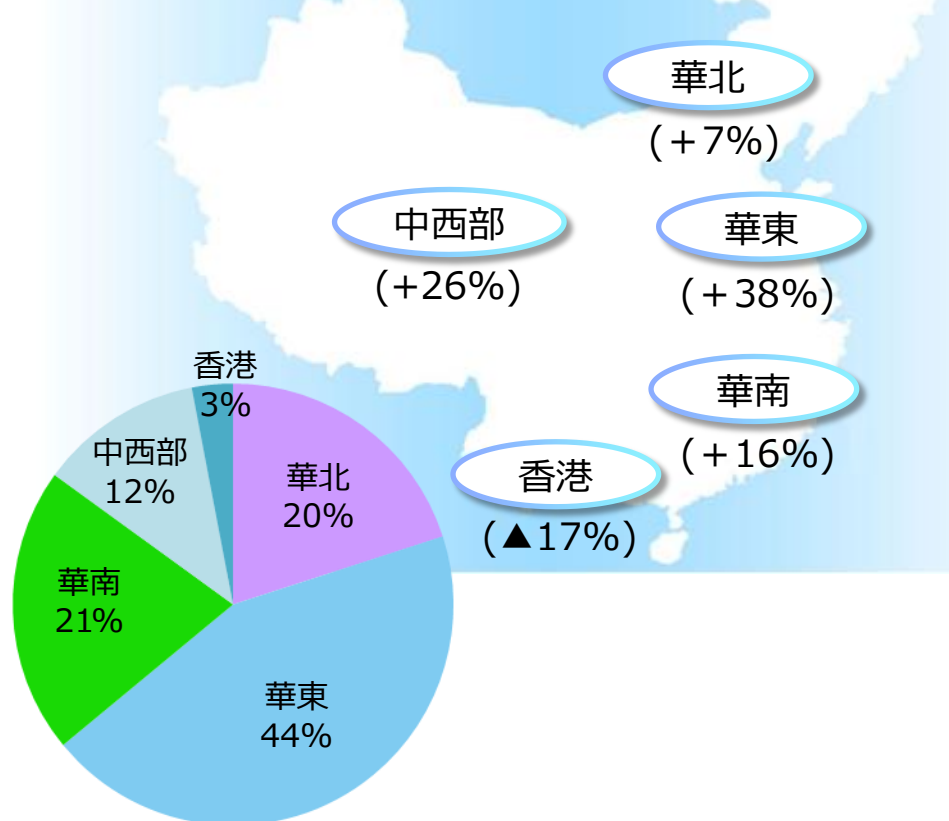
大幅増収増益。営業利益率も向上。

2017年度第1四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+18%(現地通貨ベース)

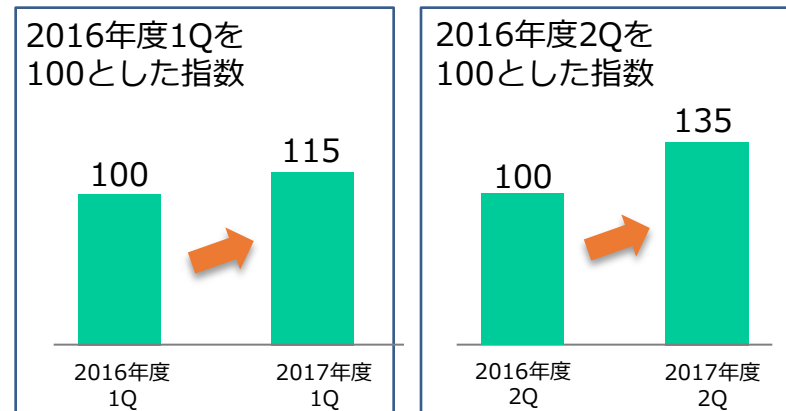


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+25%
ウォシュレット	+10%
水栓金具	+22%

■ ウォシュレットの販売台数伸長



* 2016年度1Qは2015年度1Qに対し+98%と大幅伸長。2017年度1Qも引き続き伸長。

地域別では売上構成比の大きい華東が回復。全商品とも好調に推移。

2017年度第1四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

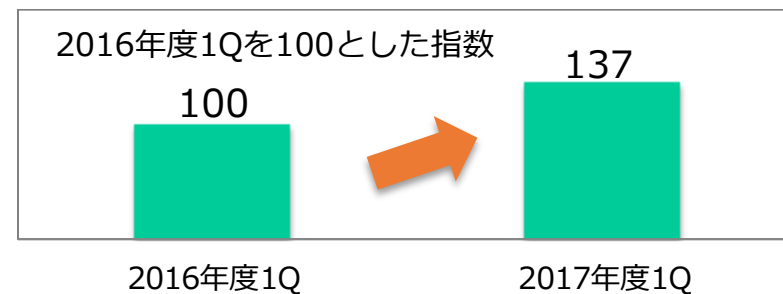
台湾

単位：百万台湾ドル

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年比 前年差
売上高	922	944	+2%
営業利益	260	254	▲6
営業利益率	28%	27%	▲1pt

為替レート	2016年度1Q	2017年度1Q
1台湾ドル	3.49円	3.66円

■ウォシュレット販売台数の伸長



第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同月比▲10%。

ベトナム

単位：10億ドン

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年比 前年差
売上高 (外部顧客売上高)	584 (319)	559 (297)	▲4% (▲7%)
営業利益	111	109	▲2
営業利益率	19%	20%	+1pt

為替レート	2016年度1Q	2017年度1Q
1ドン	0.00511円	0.00495円

第2四半期(4月～6月)の外部顧客売上高伸長率は前年同月比+25%。

台湾は市況が厳しい中、ウォシュレットが牽引し増収も、プロモーション費用増により減益。
ベトナムは大型物件の納期遅れにより減収減益。

2017年度第1四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

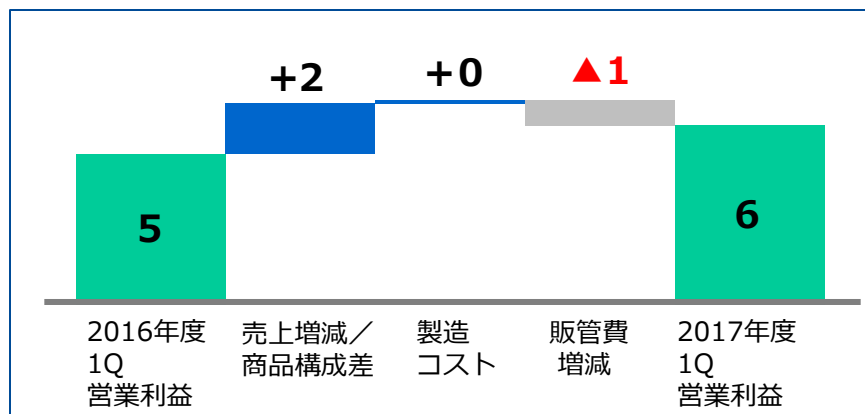
P / L

単位：百万ドル

	2016年度1Q	2017年度1Q	前年比・前年差
売上高	65	66	+2%
営業利益	5	6	+1
営業利益率	8%	10%	+2pt

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



為替レート	2016年度1Q	2017年度1Q	2017年度計画
1ドル	115.4円	113.6円	105.0円

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同月比+6%。

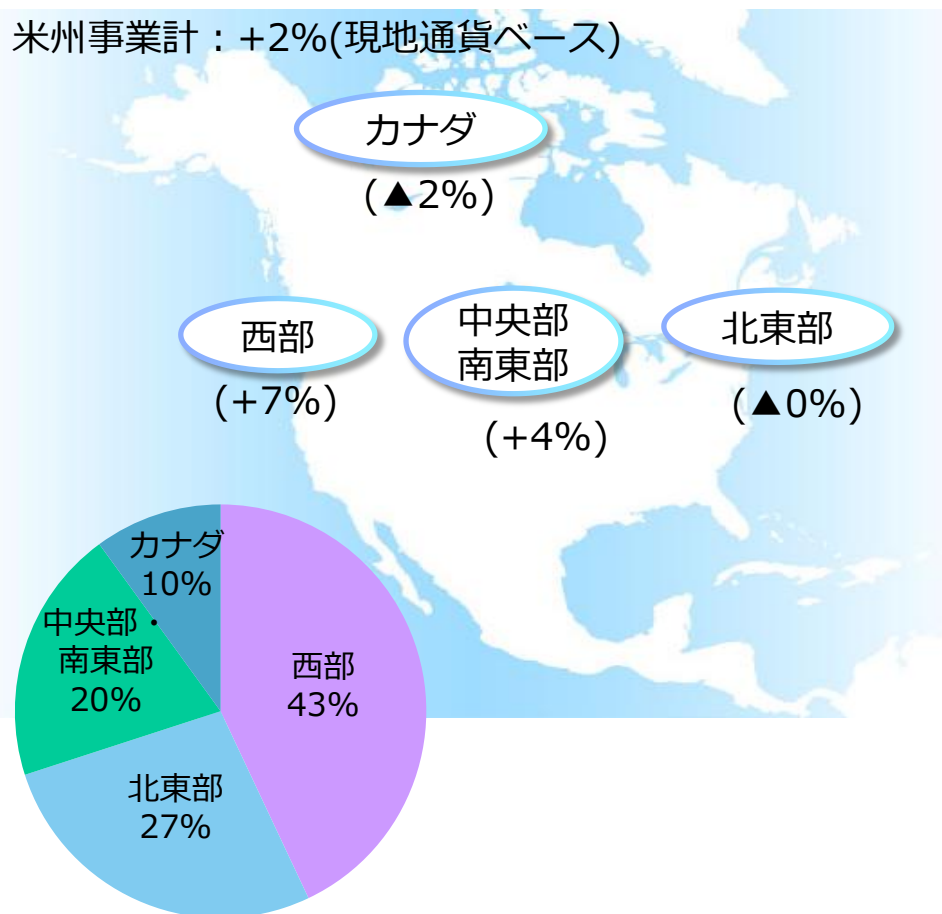
増収増益・営業利益率二桁を達成。

2017年度第1四半期決算

現地グループ会社の業績(米州)

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+2%(現地通貨ベース)

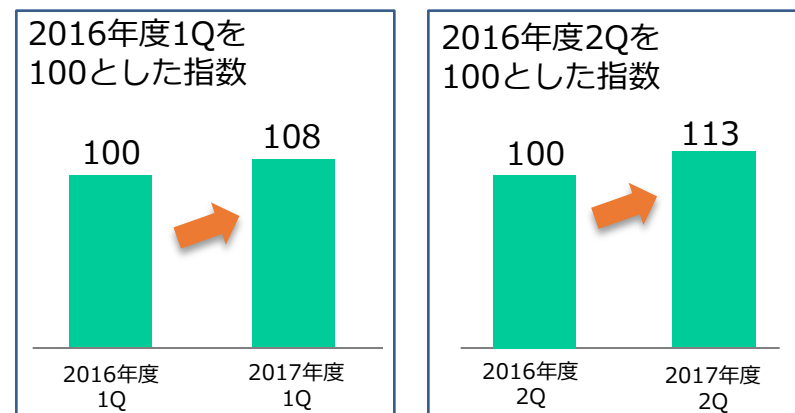


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+7%
ウォシュレット	+4%
水栓金具	▲7%

■ ウォシュレット：販売台数の伸長



* 2016年度1Qは2015年度1Qに対し+46%と伸長。
2017年度1Qも引き続き伸長。

西部地域が牽引、商品別では衛生陶器・ウォシュレットが伸長。

2017年度第1四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2016年度1Q	2017年度1Q	前年比・前年差
売上高	8	7	▲17%
営業利益	▲0	▲1	▲1

為替レート	2016年度1Q	2017年度1Q	2017年度計画
1ユーロ	127.2円	121.1円	117.0円

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同月比▲9%。

■ 著名物件採用事例：ドイツ（ミュンヘン） HOTEL VIER JAHRESZEITEN KEMPINSKI MUNICH



ケンピンスキー・ホテルはヨーロッパ最古の高級ホテルグループ。

「HOTEL VIER JAHRESZEITEN KEMPINSKI MUNICH」は旧王室ゲストハウスでもあった歴史的価値の高い建物を活用したホテル。ここにネオレストが採用された。

減収減益ながら、高級ホテルを中心にネオレスト等の採用は順調。

2017年度第1四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年差 (前年比)	為替	
				影響額	影響除 (前年比)
売上高	24	44	+20 (+79%)	▲0	+20 (+81%)
営業利益	1	1	▲0	▲0	▲0

生産体制の強化の先行投資により、初期コストが発生。一時的な歩留低下もあり、大幅増収も営業利益横ばい。

環境建材事業

単位：億円

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前年差 (前年比)	為替	
				影響額	影響除 (前年比)
売上高	19	18	▲1 (▲4%)		▲1 (▲4%)
営業利益	▲2	▲2	+0		+0

セラミック事業は半導体製造装置向けの商品が好調、大幅増収。

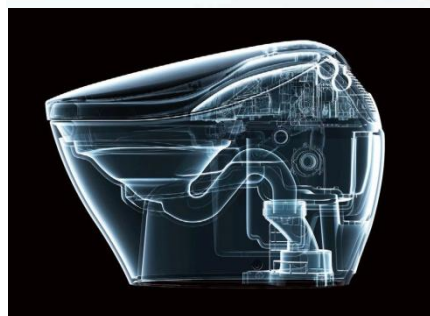
トピックス

グローバル統一モデル 全世界発売

レストルーム



NEOREST NX



■発売スケジュール
日本：2017年8月
中国：2017年10月
アジア・オセアニア：2017年冬頃～
米州：2018年夏頃～

水栓金具

グローバルなバスルームの多様なニーズに応える
水栓金具10シリーズ200品番を一斉投入



自動水栓
NEOREST COLLECTIONS



シャワー金具
「ウォームピラー」

■発売スケジュール
日本：2017年5月
中国：2017年4月
アジア・オセアニア：2017年6月～
米州：2018年前半

デザインと機能が高度に融合した
TOTOならではの商品を世界各地で順次発売。

アジア最大規模の見本市「Kitchen & Bath China 2017」に出展

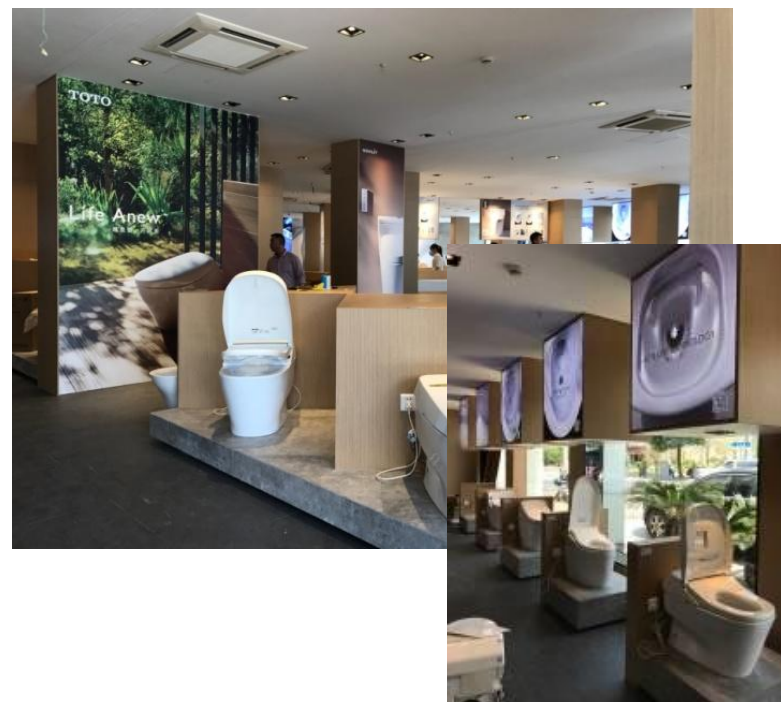


会期 : 2017年5月31日-6月3日
場所 : 中国・上海
来場者数 : 約16万人 (展示会全体)



■ 上海旗艦ショールーム 6月リニューアルオープン

グローバルで新商品を展開する中、
高級ブランドとしての世界観、技術力を発信。



欧州最大の展示会「ISH」に引き続き、中国でも
TOTOの技術力を訴求し、高級ブランドとしての存在感をアピール。

社外からの評価

■ 光電センサー内蔵自動水栓 平成29年度「建築設備技術遺産」に認定



光電センサー内蔵自動水栓
品番：TEL2B
発売期間：1984年～1990年

評価ポイント

その後の光電センサーや駆動部の技術進歩の原点となり、今やパブリックトイレ洗面所への設置だけでなく、家庭用水栓への流用など大きく影響をおよぼした水栓金具であることから、建築設備として価値ある製品。

建築設備技術遺産

主催：一般社団法人 建築設備技術者協会

概要：平成24年度より、建築設備分野に係わる「技術」と「技術者の歴史的な足跡を示す具体的な事物・資料」を「建築設備技術遺産」として認定する制度。建築設備技術者が関わってきた、建築設備分野の技術および設備関連情報とそれを建物に収めてきた技術を次世代に伝える必要のある大切な遺産として認定するもの。

■ 内容物にフィットする緩衝機能付き包装箱 ワールドスター賞・木下賞をダブル受賞



多様な内容物の形状に合わせて収納可能にした包装箱

評価ポイント

多様な補修部品がある中、その形状にフィットするように緩衝部が変形し収納する緩衝機能付き包装箱。箱と緩衝部分は段ボールによる一体構造で、リサイクル性にも優れている。

ワールドスター賞

主催：世界包装機構（WPO:WorldPackaging Organisation）

概要：世界規模のパッケージコンテスト。世界各国の優れたパッケージを世界に紹介することが目的。世界各国のコンテストから勝ち上がってきた291作品の中より、特に優れた140作品にワールドスター賞を授与。

木下賞

主催：公益社団法人日本包装技術協会

概要：国内の包装産業界では最も権威がある賞。

日本包装技術協会の第二代会長、故・木下又三郎氏の包装界に対する多年の功績を記念して創設された表彰事業。3部門から成り、原則的に一部門1作品のみに授与。

社外からの評価

■ 社会的責任投資指数 「FTSE4Good Index Series」 の構成銘柄に選定

<2年連続>



FTSE4Good

社会的責任投資の世界的指数である
「FTSE4Good Index Series」の
構成銘柄に2年連続で選定（2017年7月発表）

■ 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が採用した 3つのESG指数全ての構成銘柄に選定

3つのESG指数

- ・ 「FTSE Blossom Japan Index」



FTSE Blossom
Japan

- ・ 「MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数」

MSCI



MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

- ・ 「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」

MSCI



MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

このプレゼンテーション資料は、2017年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO